

賣却拂下廢却處分

0210

軍務局長

供覽齊

艦政本部

第三會計

軍務局

柄

經理局長

主任局

横領第五二號

明治四十四年一月十三日

井出

横領賀鎮守村司令官長官代理

海軍少將坂本

押捺

福田

海軍大臣 野村浩太郎 實版

廢船舟賣却取分濟ノ件

公稱第...

附屬品共 壹隻

カシ

附屬品共 壹隻

一カシ

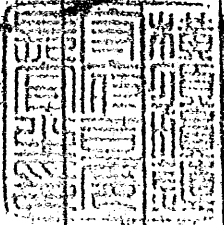
附屬品共 壹隻

一ギ

附屬品共 壹隻

一ギ

附屬品共 壹隻



川 16

一ガレー 附屬品共 遣隻 軍艦八隻ヨリ蒙納ノ分

一ガレー 附屬品共 遣隻 軍艦朝日ヨリ蒙納ノ分

一ギグ 附屬品共 遣隻 軍艦香取ヨリ蒙納ノ分

一ギグ 附屬品共 遣隻 軍艦志岐ヨリ蒙納ノ分

右賣却明治四拾五年拾貳月貳拾貳日買受人

引渡済ニ付報告ス

終

0212

傳賢具

第二一號

明治四十四年二月十六日

佐世保鎮守府司令長官男爵出羽重遠
海軍大臣男爵齋藤實殿

艦政本部

第三

會計

軍務局

經理局長

主任局

精山 雜役船賣却件

公孫第五二號傳馬船

壹隻 四四年首旨賣却

右修繕月加フルモ將來使用ノ見込ナキニヨリ賣却候

右報告

海軍

0213

艦政本部長

第三部
第二部

會計課

佐世保第六師団

明治四十一年二月十一日

黒井 佐世保海軍工廠長

杉本海軍船政本部七股

雑役私賣却件

船名 隻数

單價 賣却

記帳

公称並五ノ号
傳馬新 隻

売〇〇 売〇〇

明治四十一年二月十一日
賣却

右修理ノ加ニテ 將來使用ノ見込ニテ 賣却ス

右報告ス

海軍



原簿濟
還納簿濟

0214

三
2-16

(佐世保海軍工廠)

起案紙第一號

明治三十二年二月七日起案

起草者 林 銑郎

三月

日發行

發行所

東京府

林 銑郎

林 銑郎

林 銑郎

林 銑郎

授案

艦政本部長

福本

第三部長

福田

郵員

大臣

副官

井出

小林

第四部長

藤田

名越

次官

參事官

會計課長

藤田

名越

軍務局長 加

局員 中壘

高橋

經理局長 藤田

主任局員

相原

明治三十二年三月一日

横濱 第三三三号

蒸氣 船隻 度部 家合

發案官房第

四九七號

每頁

0215

艦政本部

第三部

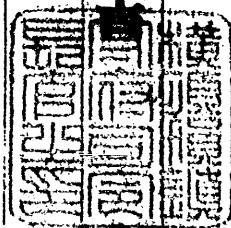
第四部

軍務局

横鎮第三二三號

明治四十四年二月十五日

横須賀鎮守府司令長官 男爵瓜生外吉



海軍大臣男爵大角藤實殿

雜役船廢船處分ノ件

一 軍艦鎮遠 暹納 三十二噸汽艇

一 公称算二二七噸汽艇

右ノ艇年ノ結果船体機関共衰朽刻意修理ヲ

加フルニ使用ノ見込無キニ付廢船處分方御認

許相成廢

右ノ上申入

官房第

四九七

海

軍



横濱吉本



2-16

0217



2-16

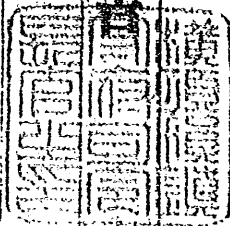
軍艦平遠ノ遺
横濱ノ所屬長

柳水

二三三號

治四十四年二月十五日

橫須賀鎮守府司令長官 男爵瓜生外吉



海軍大臣男爵齋藤實殿

雜役船廢船處分ノ件

船鎖遠還納三十二吹汽船

壹隻

林算二二七號汽艇

壹隻

松年ノ結果船本機共衰朽刻意修理

ニ使用ノ見込無之ニ付廢船處分ヲ認

別成廢

申入

九七

海軍



横濱吉本



2-16

0217



三ノ五
2-16

↓軍艦平遠号、遠納船
梅港、海倉長、吹
中七、吹
0218

元
下

起案罪紙第一號

明治四十年三月廿日起案

起案者捺印

三月七日發付

發付者捺印

發付後起案者捺印

済

主務

軍務局長

務

局員

中

官

官

大臣了

副官

梨

次官

梨

參事官

經理局長

藤田

局員

官

總政本部長

梨

第三部長

梨

會計官

梨

軍本部長

明治四十年四月七日

次官

長崎縣知事

沈没艦下願ニ關スル件

發送
番號
房第二七八號

每頁

0219

06 11

船
器

別紙赤山首以即出願對馬國上縣郡

豊後村沖沈没船拂下願進達相成矣

處當該沈没船ハ是素ニ海軍ニ於テ放棄

シタルモノニ屬シ美系在願ハ當省ニ於テ受理

スハキキリニアテアルヲ以テ及海迄却テ亦不可然

御取計有願度

右申進ス

終

参考

海軍

○明治三十八年五月二十七日日本海海戦ニ對馬國舟志湾附近ニ沈没セル露國

軍艦ニテ左ノ二隻ノ内ナラン乎

ウラジミルモノフフ

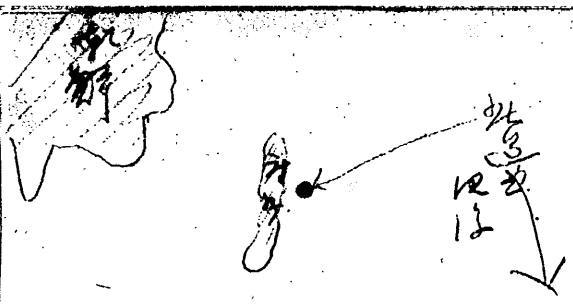
裝甲西洋艦
五五九三屯

アドミニエナヒモフ

裝甲西洋艦
八五二四屯

日本海海戦々闘詳報 抜萃

(前畧)三十八年五月二十八日又駆逐艦不知火特務艦佐渡丸モ午五時三十分頃對馬
 崎ノ東方約五海里ニ於テ敵艦アドミニエナヒモフヲ沈没ニ重ントセシメ會ニ續テ又敵艦ウ
 ラジミルモノマフカ著シク傾斜シテ其ノ附近ニ來ルヲ発見シ朝母佐渡丸ニテ捕獲處
 合テ為セカニ艦共ニ大破ニテ浸水甚シク遂ニ其乗員ヲ救助シ得タル後午前
 十時ノ交相前後ニテ沈没セリ(下畧)





吳鎮第三八九號

明治四十四年四月十四日

吳鎮守府司令長官 加藤友三郎

艦政本部

第三部
第二部

海軍大臣 野澤齋藤實殿

軍務局

會計課

廢船丹毒具却處分件

左記

左記 五隻外 参考 廢船 將來使用 見込 ナク

且ツ之 廢船 資材 材料 使用 ン 揚 げ ン ト 認

メ 今 日 申 却 せ ン 候 條 雜 役 船 丹 毒 具 及

廢 却 手 續 第 四 條 依 之

右 報 告 云

左記

主任

經理局

海軍

0328

							一 傳馬船 寺裏	一 旧水雷艇船殼 寺裏	一 キググ 五裏
--	--	--	--	--	--	--	-------------	----------------	-------------

終

0283

海軍本部

第三部
第二部
會計

吳王第八號

明治四十四年四月十二日

海軍艦政本部長 相木和毅
吳海軍工廠長代理 小田嘉代藏



廢船母士賣却件

左記キク五隻外 左康賣却候条 雜役船母士
納及廢却手續 第五條ニ依リ

右報告

左記

品名

数量

子定半價 子定代價
賣却身價 賣却代價

摘

要

0224

起案紙第一號

明治二十年四月十二日起案

起案者 押印 第九日發行

(折衷) 艦政本部長 稻

第三部長 田

第四部長 藤

大臣

副官 小

次官 參事官

第二部長 藤

會計課長 水

軍務局長 柄

海軍大臣

官指

相原

經理局長 田

主任局員

田

田

自必字白平白月十九日 海軍大臣 櫻井 武揚 閣下 謹啓

發送官房第一三二七號

海軍

0226

出村

田

919

田

田

田

艦政本部

軍務局

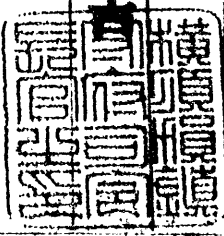
第四部

横鎮第八五一號

明治四十四年四月十日

横須賀鎮守府司令長官 男爵瓜生外吉

海軍大臣男爵齋藤實殿



廢船舟賣却處分ノ件

左記廢船舟並ニ附屬品ハ將來使用ノ見込無之
モノニ付賣却処分致度矣條御認許相成度

右 上申ス

左記

一 元軍艦鎮遠世二吹汽機

表隻

附屬品

官房第一三二七號

0228

一 橋 老 車 一 帆 架 老 車

一 信 野 竿 ヲ ヤド 老 車 一 船 老 網

一 船 柄 老 網 一 カ バ ー ス タ ン シ ョ ン 八 車

一 以 稱 第 二 三 七 號 汽 艇 (元 橋 渡 賀 港 務 部 附 属) 老 隻

全 附 属 品

一 ラ ー ジ ペ ン ダ ー 老 條 一 フ ラ グ ス タ ッ プ 老 車

一 平 オ ー シ ン グ 式 張 一 ラ ダ ー 老 板

一 光 ラ ー 老 車 一 オ ー シ ン グ (鉄 骨 共) 老 張

一 錨 鎖 老 條

以 上

(終)

經 表 部

橫鎮第九九二號

明治四十四年四月二十七日

橫須賀鎮守府司令長官 男爵瓜生外吉

艦政本部

枋

軍務局

經理局長

報告 却明 治四十四年四月八日買受人 引渡又濟 三付

第一編 第一號 附屬品共 壹隻
第二編 第一號 附屬品共 壹隻
第三編 第一號 附屬品共 壹隻
第四編 第一號 附屬品共 壹隻
第五編 第一號 附屬品共 壹隻
第六編 第一號 附屬品共 壹隻
第七編 第一號 附屬品共 壹隻
第八編 第一號 附屬品共 壹隻
第九編 第一號 附屬品共 壹隻
第十編 第一號 附屬品共 壹隻

主任局員

海軍

橫濱吉本納

113 4-28

0230

艦政本部長

第三部

第二部

會計課

機第四六六號

明治四十四年四月二十六日

坂本横須賀海軍工廠長

松本海軍艦政本部長殿

廢船丹賣却處分件

船種	艘数	定價		賣却價	
		單價	代價	單價	代價
公稱第八種 カッター附屬品類	壹	參五元八〇	參五元八〇	參五元八〇	參五元八〇
公稱第九種 カッター附屬品類	壹	參元五〇	參元五〇	參元五〇	參元五〇
信馬船	壹	貳〇〇〇	貳〇〇〇	貳〇〇〇	貳〇〇〇

右諸港務部引継前記金額以賣却明治四十四年

四月八日引渡済存報告ス

済

政艦 4.27

0231

海軍

藤原

起案紙第一號

明治廿九年己月廿九日起案
此案者
九月八日發行
林印
若者林印

（於事）
總政本部長

大臣

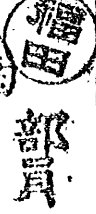
下次官



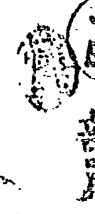
參事官



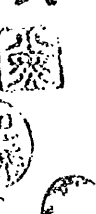
第三部長



第四部長



第二部長



會計課長



軍務局長



局員



經理局長



主任局員



明治廿九年己月
九月八日發行
藤原

發送
官房第一三七三號二

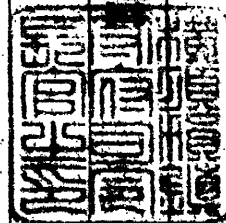
海軍

0232

横鎮第九三一號

明治四十四年四月廿一日

横須賀鎮守府司令長官 男爵瓜生外吉



海軍大臣男爵齋藤實殿



第三部
第四部
會計部

軍務局

還納雜役船廢船処分件

一海軍水雷學校還納各種第十四號汽機老隻
右、經年、結果船体機関共衰弱到底修理
ヲ加フルモ使用ノ見込無之ニ付廢船處分方

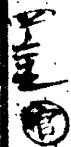
御認許相成度

右、上申又

(終)

官房第一三七五號

海軍



横須賀本



0235

0234

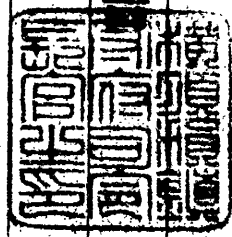
工造

横濱市本



政體
44.4.28
受接

一生外吉



殿

精汽機修理
精到底修理
能處分方

海軍

終

0235 0234

本形ノ原形

奇蹟同長五〇呎

巾一三呎五寸

平均排水三〇五噸

排水量二三〇噸

製造年月 二十二年 九月 石川島造船所製造

備考 本形ノ種々型隊用として製造し、使用し、三十二年五月 破損使用し、保へし、

故ノ以、還納し、九年十月廿四日水没物係留所、沙島トナリ、スルナリ

供覽

佐鎮第三九四號ノ五

明治四十四年五月廿六日

佐世保鎮守府司令長官男爵出羽重

佐世保鎮守府司令官印

海軍大臣男爵齋藤實殿

艦政本部

第三

廢私舟ノ件

封山

官房簿第一號三訓令ニ依リ旧軍艦艦城

鳥海ノ武隻ハ還納ノ上本月二十三日廢私舟ノ手續了ス

軍務局

右報告ス

局員

印

印

印

海

軍

三
5-31

印

0236

1214
沈
紙
卷
四

起案紙第一號

明治甲四年五月三十日起案
相原
日發行
家者

主務 經理局長 勝 局員 相原

大臣 次官 參事官 局員 醫

軍務局長 柄 局員 中野

艦政本部長 第三部 福田
第四部 會計課
小牧
相原

明治四十四年五月七日

海軍大臣

旅順鎮守府司令長官宛

發送番號
官房第一九八五號

海軍官房收受
六月六日

0237

沈没船賣却處分ノ件

旅順港外ニ沈没ノ汽船武揚丸及武州丸貳
隻ハ沈没ノ儘其地工作部ヲシテ競賣取計

ハシムヘシ

右訓令ス

海防隊中ハ此ニテ船隻ノ投賣ノ事及該隊中
一〇五三ノ三枚告ノ事

0238

供覽

海

司令長官

富

參謀長

副官

副官

八月十五日

海軍省

海軍省

海軍省

海軍省

海軍省

海軍省

海軍省

旅順鎮守府司令官 富岡定恭殿

海軍省

軍務局

海軍省

沈船發見、件

壹隻

水路部

海軍省

本府海軍省、工部請員人池田政治、届出ヨリ

本月二十日現場、付實地精査、知船体ハ海

岸、面シ九方、轉倒、破壊シ船内、有價金物

類、皆奥ニシテ、船長約二百四、天津丸沈

没、位置、下相隣、ニ所、想察スル、本沈没船

係、一、回、閉塞、船、武、丸、ナ、シ、ト、思、惟、ス、其、位、置

主任局

經理局

0239

別圖通

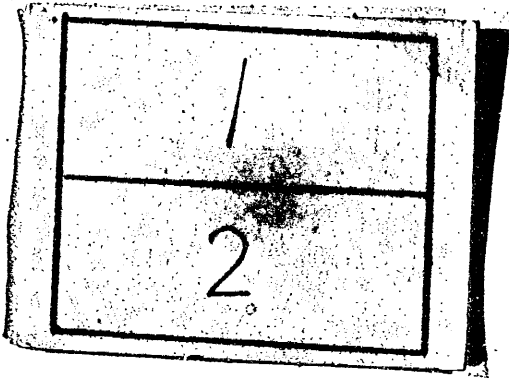
右報告

別圖彙集係附

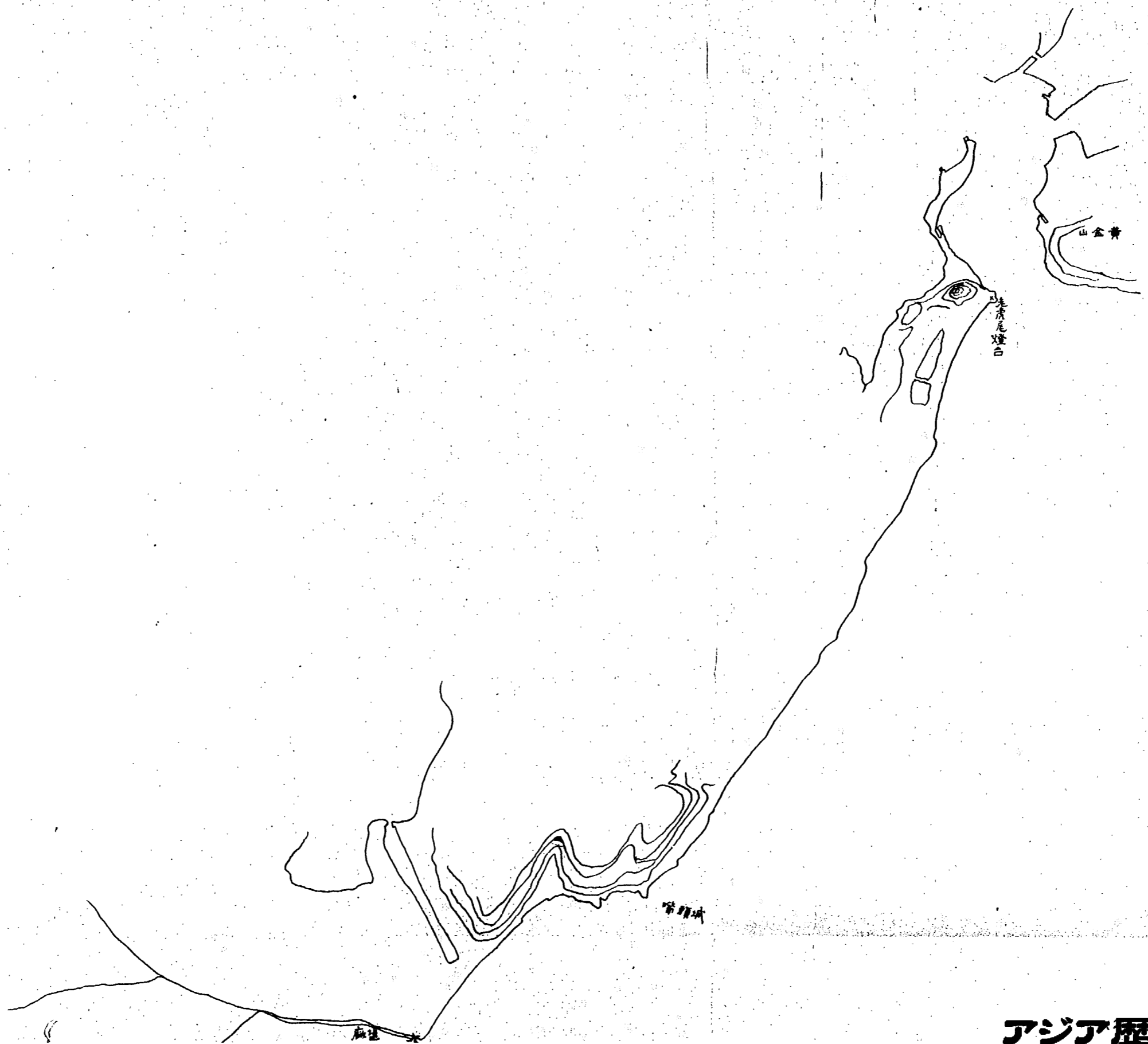
陸

0240

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

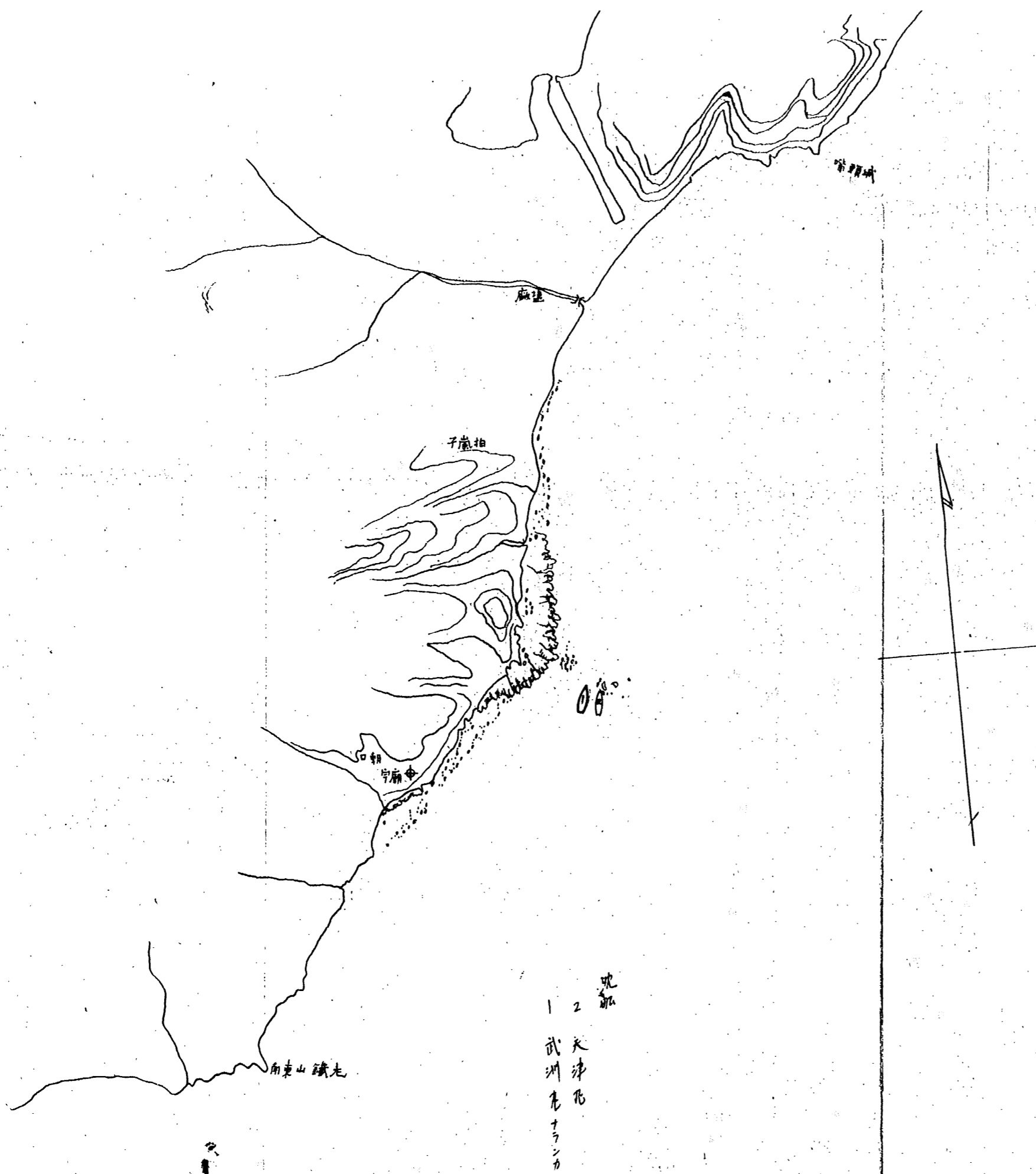
0241
0242



津海圖第三五八號 同尺度

沈船位置

- (1) 老鐵山東南角 距離一哩三鐘 北四七度東
- (2) 老鐵山東南角 距離一哩三鐘 北四八度東



沈船
 1 武洲
 2 天津

供覽

無

軍務局

水路部

海軍部

第三

軍務局

旅鎮第一〇五三號ノ三

明治四十三年十月廿一日

旅順鎮守府司令長官男爵富岡定恭

海軍大臣男爵齋藤實殿

沈船發見ノ件

別紙ノ通、工作部長ヨリ沈船發見ノ報告
有之、港務部長ヲシテ其位置ヲ精査セシメ候
処、是記通リニテ本船ハ第一回閉塞船武

九ヤラン

思惟セラレ

距離一理六寸

位置

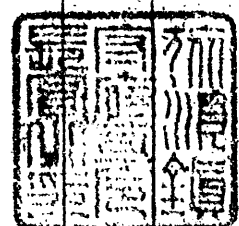
南三五度東

南三五度東

距離

一理六寸

五寸



0243

三 14

六

右報告ス

(別紙四葉添)

紙

0244

旅漢東方電報

明治卅三年十月廿七日

旅順海軍港務部長河野光臣大

旅順鎮守府司令長官男爵宮岡定恭大

沈航佐星一伴

旅工次四九一號為工作部長報告有五條沈

航位置調查係久光記ノ通りニシテ

一 杓子煙突ヲ南ニ度東 距離一哩五鐘

一 城頭燈ヲ南ニ度西 一哩五鐘

右報告ノ

送

旅工米田丸一號

明治三十二年十月二十二日

旅順海軍工作部長平部貞一

旅順鑛業社司會長官男爵富岡定素殿

沈船発見調査ノ因ニ付

別紙略圖、位置、沈船ノ発見セシメテ調査ノ結果
尤記ノ通ニ有之候

一沈没位置、本船ハ略圖ニ示スル如ク天津九一東北水深

約十二尋(満潮時)ノ所ニ於テ船首ヲ東南ニ向テ天津

丸ノ前部ヲ約七十米ノ際テ擱坐セリ

一沈没状態、本船ハ海底岩石ノ間ニ在リテ船体ノ前部

ハ横断セリレ分離シテ傾倒シ最上甲板等ハ泥中ニ

埋没レ光緒ノ故テ僅カニホースパイプ見ユ
中央部ヲ後部ハ其供沈没セルモノニホニツク屈
折セル其曲部ヲ後部竟爾ハ海底ト約三十
五度ノ傾斜ニ起立セリ而レテ上部ハ殆ド取リ去ラレ
只彎曲部以下殘セルモノヲ外板ハ二重底上カク一重突
位ヲ存シ助材ハ彎曲部ニテクモ一カク尚ホ夫レ以上ノモノクモ
一足ヤモ奇蹟ノ障壁ヲ其供ニテ瓦罐三個現存セリ
然レモ烟管ハ瓦ヲ取リ去ラセリ其他推進軸ハ取リ外サレ船
体附近ニ在ラテ接續セルト其接合部ヲ取リ放
シタルモノトアリテ其長サ合計八十古呎其他所屬物等ノ
存在セルモノ無シ

前述ノ如ク奇部ハ轉覆レテ地中ニ埋セレ且ツ漸流急
ニシテ潜水時間短カク容易ニ完全ニ調査出来ヤリ

右記ノ事ノ内部ノ状態及船名、長サ等明瞭ナリ
レトモニ重底上約一米突、又、水ヲ最大幅約三十
呎ナリ

右報出ス

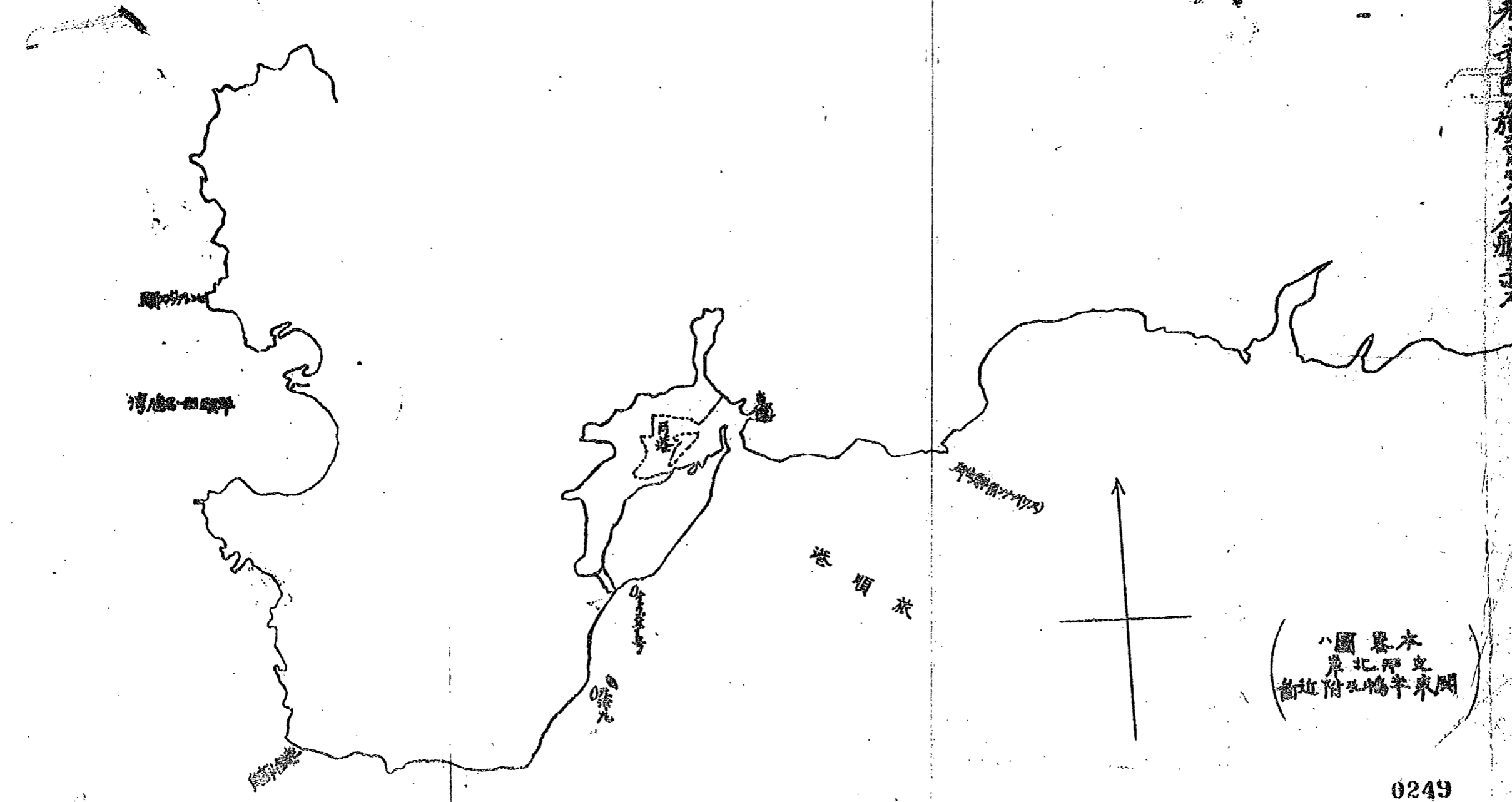
(別圖ノ案ナリ)

(82)

海

0248

沈没船位置畧圖
備考亦施是等未船



八國本
北那史
前地附及嶋半東國

0249

起案紙第一號

明治廿二年六月一日起案

起案者
 日發行
 發行者
 朱者捺印

於
 艦政本部長

第三部長
 部員

大臣

副官

第四部長

次官
 參事官

第二部長

會計課長

軍務局長

局長

經理局長

主任局員

明治廿二年六月七日
 海軍大臣
 少佐 氣多 水 廣 部 長 官 官 房 第 一 九 七 號

發行者
 官房第一九七號

海軍大臣

0250

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

海軍

0251

艦政本部

第三部

第四部

會計課

軍務局

精製第一一八七號ノ三

明治四十四年五月二十九日

横須賀鎮守府司令長官 男爵瓜生外吉

海軍大臣 男爵齋藤實殿

還納雜役船癩船處分件

公称第二四七號汽船 危隻

右、経年、結果船体機関共衰朽到底修理不

可能ニシテ將來使用見込無之ニ付癩船處分

方御認許相成度

右上申入

官房第一九八七號

海軍

横濱吉本

11.5.31 受取

0252

供覽

經理局長

檳榔 壹万六千四百四拾六
島海 壹万五千五百四拾六

四百七十三
四四七三二



軍務局長 振

局員 野

第三部長 福 部員

艦政本部長 柏

第二部長 藤

明治三十七年七月

大正...
...
...

日發...

艦 7-26

四 艦

44.7.26

軍務局長

7-21

四十年九月

7/29

0253

0254

經理局長

供覽



旅券部



軍務局長



八月 日付付ス



監

四

軍務局

三 7-21

昭和七年九月

2/29

總政本部長

第三部長

第四部長

第二部長

第一部長

明治三十二年七月

電

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

陸軍部

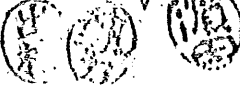
陸軍部

官房第二二三一號

陸軍部

0254

0253



古事記
卷之八



新
刊

花
崎
納

0255

艦政本部

軍務局

佐世保鎮守府司令長官男爵齋藤實殿

明治四十四年六月五日

佐世保鎮守府司令長官男爵出羽重

海軍大臣男爵齋藤實殿

第三部

會計課

艦政本部 艦政第一課 艦政第一課 艦政第一課

官房第二一九號 訓令 依、旧軍艦警城鳥海ノ二

隻ハ本月二十三日廢艦舟ノ手續ノ了レ候處當工廠ニ於テハ

右保安上瓦人員ノ配置上保管方非常ノ困難ニシテ

造船材料ノ組入使用ノ得可キモノ無之候條賣却處合

方至急訓令相成候様致度

右ノ上申ス

(終)

官房第二一九號

海

海

海

紙、管、冊

新

五日

司令長官男爵出羽重

實殿

慶令ノ件

依、旧軍艦磐城島海ノ二

手續ヲ了シ候慶當工廠ニ於テハ

上保管方非常ノ困難ナルシ事

可キモノ無之候條貴却慶令

(終)



六月十日

政艦 14.6.10 受接

0256

紙 箋 附

奉 命 出 羽 重 實 殿
其 月 日 下 概 意 又
海軍省軍務局

艦政本部 御 中



0257

一日

海軍省 出陣 重

保

六月十日
海軍省

政艦
14.6.10
受接

田

留

中

日

(終)

0256

中津 奉却 代金 以 千 五 年 分 算 出
務 算、 然 源、 充 費 也、 以、 ナ、 ン、
全 年 分 概 算 関 係 決 定 後、
至 貴、 卜、 認、 公、
以、 古、 年、 六、 月、 三、 日、
経 理 局

0258

月五日



六月十日
海軍省

政船
14.6.10
受接

0528

Handwritten Japanese text in cursive style, likely a letter or official document.

(終)

0256

Handwritten Japanese text, including the characters '軍務局' (Military Bureau) and '艦政本部' (Naval Administration Department).

軍務局
艦政本部

電務局接受

0259